

第1章 調査の概要

1.1 調査の背景

平成17年3月24日の東北地方交通審議会答申「東北地方における望ましい交通のあり方及び観光振興戦略について」（以下「答申」という。）において、今後の進め方が提言されたことを受け、答申で示された東北地方の交通・観光に係る「課題」や「取り組むべき施策」について検討するため、政策推進部会を設置することとなった。

平成18年度は2回の政策推進部会を開催した。第1回政策推進部会では「地域の足となる移動手段の確保について」を重点テーマとし、デマンド乗合タクシーについて検証した。第2回政策推進部会では第1回政策推進部会の重点テーマについて引き続き検証するとともに、新たな重点テーマとして「観光振興に向けた二次交通の充実について」を設定し、二次交通の充実に向けた施策の検討を行った。

1.2 調査の目的

東北地方は、豊富な観光資源に恵まれ、かつ近年東北新幹線の延伸等高速交通網も徐々に整備されてきている。しかしながら、それらの主要駅や空港からかなり離れたところに立地している観光地が多く、そこに至る二次交通の充実が東北の観光振興の喫緊の課題となっている。

本調査は、東北地方の高速交通ターミナルから主な観光地までの二次交通の現状分析を行い、その課題を把握するとともに、先進事例なども取り入れながら、より充実した二次交通体制の確立を図っていくことを目的として実施した。

注）本報告書での「二次交通」とは、交通拠点と観光地を結ぶ二次交通とする。

1.3 調査の内容

本調査は、次のフローチャートの手順で実施した。

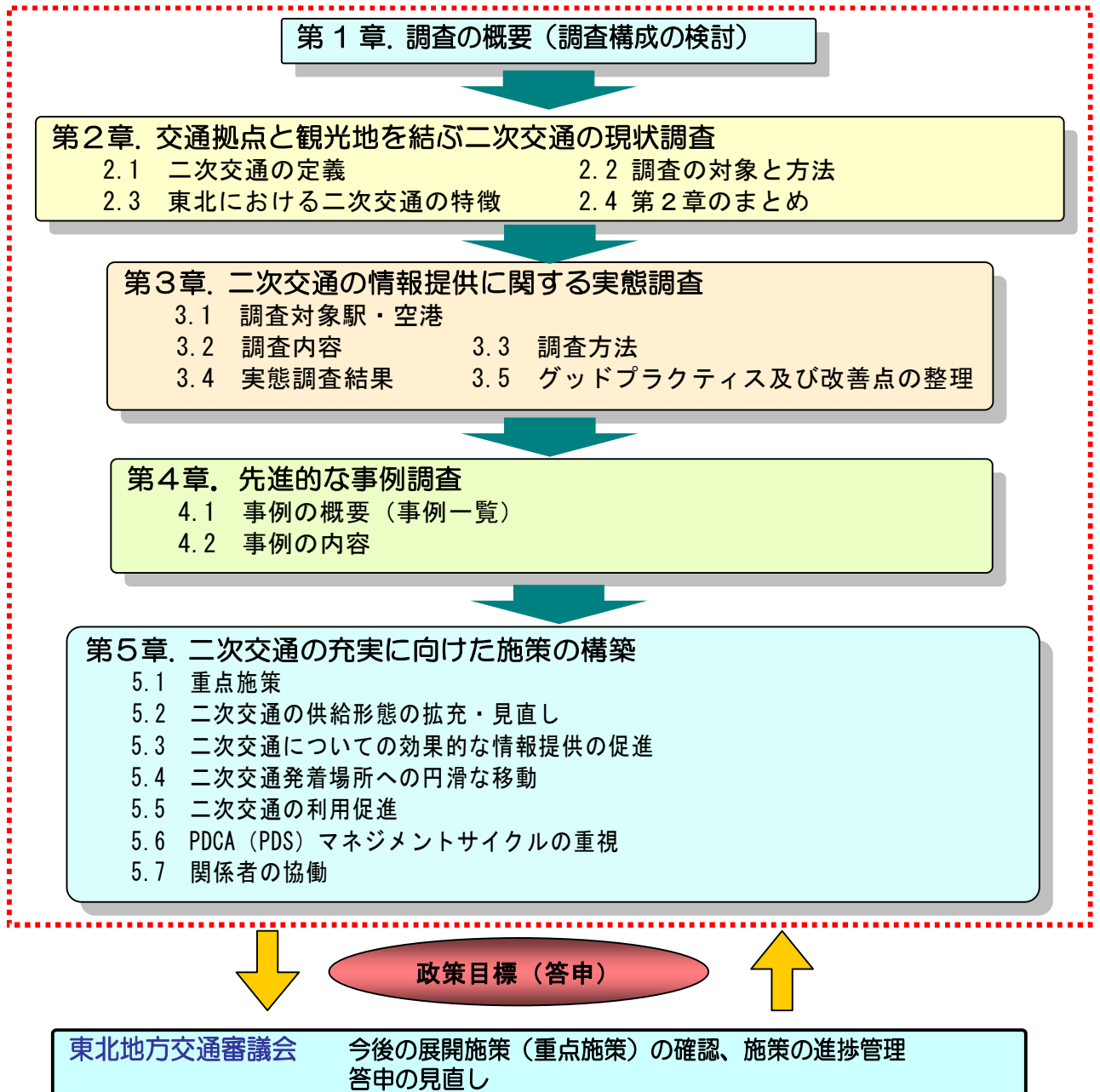


図 1-1 調査のフローチャート